

第12回「日本語大賞」

テーマ「心にひびいた言葉」

中学生の部 文部科学大臣賞 受賞作品

「今日を頑張る」

東京都
東京都立小石川中等教育学校
二年 鈴木 司

特定非営利活動法人 日本語検定委員会

「今日を頑張る」

東京都立小石川中等教育学校 二年

鈴木 司（すずき・つかさ）

私はあることに悩んでいた。それは自分がなぜ、頑張っているのかということだった。このことを周りの大人、友達に聞いてみたが、答えは様々でどれも腑に落ちなかった。ある一人の友達は夢のためだと答えてくれた。しかし、それでは夢のない人が頑張る理由にはならない。おそらく、多くの人はお金や夢などの見えるものに向かって頑張っていると思っっているのだろうが、もっと本質的な何かがあるのだと思っていた。しかし、私はそれが何か分からず、スツキリしないまま学校生活を送っていた。

そんな時にこんな言葉に出会った。

「今日を頑張った者のみ明日が来る」

これはあるアニメに出てきた言葉なのだが、私の心に引つかかった。頑張る理由のヒントになる気がした。しかし、その言葉の意味の理解にとっても苦しんだ。たった十六字なのにとても深い意味が隠れているように感じた。一般的に考えて、命を失わない限り明日は来る。そう考えたら、命を守るために頑張るという風に捉えられるが、そんなに単純なものではないと思った。ふと思ったが、私はたった十四年しか生きていなかった。そんな自分に人生のテーマともなるようなことを一人で考えられるわけがなかったのだ。そう思った後、この言葉について色々な人に聞いた。すると、自分と全く違う視点から見ている友達がいた。その友達はこのように言った。

「人ってさ、当たり前前に弱いじゃん。初めての時は感謝したり、緊張したりするのに、慣れて当たり前になったら、それを忘れちゃう。その言葉はそういうことだと思っよ。」

言われた時に心の曇りが取れた気がした。この言葉の本当の意味は明日という存在を当たり前にとらえず、不確定な明日を迎えるために、そして充実させるために今日という一日を頑張るということだったのだ。

これは多くの人の心に刺さると思った。身近なところだと、ダイエットや節約をしている人。明日頑張るからと言って、今日を甘えてしまっってはきつと明日なんて来ない。また、多くの学生、大人にも何か感じるものがあると思う。実際僕はこの言葉に生活、いや、人生を変えられた。部活で陸上競技をやっているが、いつも頑張っていたのは大会が近くなっただけだった。また、自分の苦手な体作りのトレーニングも回数をごまかしたりしながら、サボっってしまった。その結果、今年の大会で目標を達成できなかった。しかし、意味が分かっただけからなんとなくかもしれないが頑張れるようになった。ほんの少しかもしれないが、自分にとってものすごい進歩だった。勉強に関しても、前よりもちよつとだけ頑張れるようになった。あと数ページ問題集を解こう。あと数単語だけでも覚えてみよう。そんな風に考えられるようになった。これは人生の大切な場面になった時にきつと役に立つと思う。今まで自分よりも少しいい人生が歩めるのではという自信ができ、これからの人生がほんのちよつと楽しみになった。

人には様々な人生がある。それぞれがそれぞれの人生を歩んでいく。しかし、どんな人にも頑張らないといけない場面が必ずくる。自然と頑張れる人もいれば、悩むような人もいる。そんな時にこの言葉を知ってほしい。これが理由として正解かどうかなんて誰もわからない。だが、この言葉には絶対に何か感じるものがある。その感じたことはきつと役に立っしてくれ

る。だから私は、「明日」という不確定なもののために「今日」を頑張る。